

草の根 通信

VOLUME
115

Kusanone Tsushin

[2023年6月発行]



Fukuzawa Yukichi
福沢諭吉

Kawada Shouryu
中浜万次郎

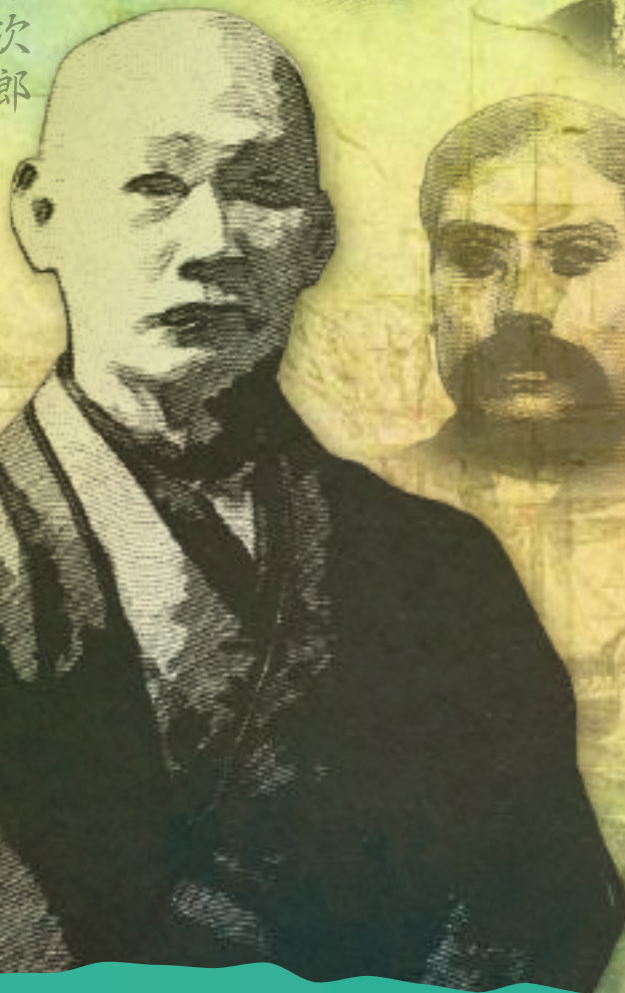


Yamanchi Yodo
山内容堂



Kawada Shouryu
河田小龍

Goto Shojiro
後藤象二郎



Iwasaki Yatarou
岩崎彌太郎



Sakamoto Ryoma
坂本龍馬



Katsu Kaishu
勝海舟



特集

「第30回日米草の根交流サミット2023オハイオ大会」速報
寄稿『「世界のマキノ」とジョン万次郎』

- ・新NAJAS会長・新CIE-US理事紹介
- ・「第31回日米草の根交流サミット2024和歌山大会」開催日決定！
- ・万次郎関連団体情報



第30回日米草の根交流サミット2023

オハイオ大会速報

参加者募集
締め切り間近!



7月7日

オハイオ大会実行委員会新体制で準備中

9月に日本人参加者をオハイオ州に歓迎すべくしっかりと準備を進めています。



JASCO 現会長
ダグ・ムジンスキー 氏
Mr. Doug Muszynski



JASCO 次期会長
(2023年7月会長職就任予定)
ノリコ・ミルズ 氏
Ms. Noriko Mills



JASCO 理事
野田 真理 氏
Ms. Mari Noda



JASCO 理事
川村 宏明 氏
Mr. Hiroaki Kawamura



JASCO ディレクター
プリーティ・マンチャングダ 氏
Ms. Preeti Manchanda

地域分科会アクティビティプラン

※各地域の特徴あるプログラムやアクティビティです。全てを実行するとは限りません。

1 コロンバス

- ◆ フランクリンパーク植物園訪問
- ◆ ドイツ村・シュミッツハウス訪問
- ◆ オハイオ州立大学訪問とテールゲート
- ◆ 博物館・美術館訪問 など

2 ダブリン

- ◆ Hidaka USA (日高精機) 訪問
- ◆ ブリッジパーク・パブリック・アート散策
- ◆ 高校フットボール観戦
- ◆ ミュアフィールドゴルフコース見学 など

3 デラウェア

- ◆ 市役所訪問
- ◆ ダウンタウン散策
- ◆ オハイオ・ウェスリアン大学見学
- ◆ ロス美術館見学 など

4 メリーズビル

- ◆ アップタウンツアー
- ◆ 北米森六テクノロジー訪問
- ◆ Innovation Park・Scotts Park 散策
- ◆ 高校フットボール観戦 など

5 ベルフォンテン

- ◆ ダウンタウン散策
- ◆ オハイオ洞窟・インディアン湖散策
- ◆ 乗馬体験
- ◆ フットボール観戦 など

6 トロイ

- ◆ 市役所訪問
- ◆ ダウンタウン散策 (郡裁判所・文化センター・蒸留所 他)
- ◆ 地元企業・学校・公園 など訪問
- ◆ フットボール観戦 など

7 シドニー

- ◆ エアストリーム工場訪問
- ◆ シェルビー郡歴史建造物ツアー
- ◆ ジョンストン農場博物館訪問と運河散策
- ◆ フットボール観戦 など

8 ファインドレー

- ◆ ファインドレー大学訪問
- ◆ 地元日系企業訪問
- ◆ ダウンタウン散策
- ◆ ファインドレー高校またはブラフトン小学校訪問 など



9月はアメリカン・フットボール シーズン!!

新学期の始まりと共に、フットボールシーズンが開幕します。地元愛の強いアメリカ人はプロチームばかりではなく、大学や高校の応援に盛り上がります!



新NAJAS会長・新CIE-US理事紹介

米国で日米草の根交流サミットを開催する際には、全米日米協会連合会 (NAJAS: National Association of Japan America Societies) の年次総会と日程を合わせ、多くのNAJAS会員がサミット大会の開会式典に参加しているように、NAJASとCIEはとても密に連携しています。

今年3月、長年NAJAS会長を務めてきたピーター・ケリー氏の後任として、アンドリュー・ワイレガラ氏が3月23日に正式に就任しました。また、CIE-US理事も就任し、今後は事務局長 (Secretary) となるワイレガラ氏からのメッセージをご紹介します。

草の根交流の環

アンディ・ワイレガラ NAJAS会長3月23日就任

日米間の外交や経済の結びつきは不可欠な基盤ですが、数十年にわたり築かれた人と人とのつながりこそが、世界で最も重要な両国の友好の持続と無限の価値をもたらしています。そのような中、全米日米協会 (NAJAS) の会長に就任したことは、とても幸運なことだと感じています。NAJASは、日米間の草の根レベルでの友好交流支援と、政府関係者と交流も含めマクロなテーマに沿った活動を行っています。今年3月、私は、十数年にわたりNAJASで革新的な活動による日米関係の構築に大きな功績を残したピーター・ケリー氏の後を継ぎ、両分野の繁栄を目指すことになりました。



元気な草の根(1979年)
ロータリー青少年交換での私(○枠、隣には将来妻となるヨーコ)

30年以上にわたるCIEの日米草の根交流サミットは、市民同士が出会い、見解や経験を共有するための理想的な場を提供しています。

NAJASは、日米草の根交流サミット支援の一環として、約40の協会が集まるNAJAS年次総会をサミットと組み合わせ、今年オハイオ州コロンバスで9月21日から22日に開催します。両団体の結束により、交流の機会を増やすことができます。2018年のシアトルでのワシントン州日米協会 (JASSW) 主催の会議とシアトル大会以来、5年ぶりに完全な形で対面の集まりとして再開できることを嬉しく思っています。

Profile



Andrew Wylegala

アンドリュー・ワイレガラ

高校時代に埼玉県への留学と、日米学生会議のメンバーとして来日。その後、外交事務官として在東京米国大使館勤務、国防大学教授を経て、台湾アメリカ商工会議所会長として活躍。現在ワシントンD.C. 在住。

今回のオハイオ大会は、セントラル・オハイオ日米協会 (JASCO) の甚大な貢献により実現されます。JASCOは今年4月にデトロイト日本総領事進藤雄介氏の出席した年次式典で設立26周年を祝いました。

前専務理事のベン・パクター氏の日本移住による退職により、プログラムディレクターのプリーティ・マンチャング氏が彼の代理を務めることになりました。ホンダ・ノース・アメリカのノリコ・ミルズ氏 (次期JASCO会長) がサミット実行委員長として準備を進めています。

また今回は過去の草の根サミットの同窓生も参加すること、感激しています。人と人とのつながりは、同心円状に伝播するように、日米の絆につながるものです。オハイオ大会の次は、和歌山で開催される2024年の草の根サミットも楽しみです。

写真で紹介しているように、私自身も草の根交流やホームステイの恩恵を受けた一人です。埼玉県浦和市での高校生交換留学で、私は1年間ロータリアンの4つの家族と過ごしました。数年後の夏、私はニューヨーク州の大学での日本語研修プログラムで、北海道の家族に招待されました。偶然にも、その時の引率者が、著名な日本語言語学者で教育者の野田眞理さんでした。そして時は巡り、現在オハイオ大会の準備を進めているJASCOの理事でもある野田博士に再会することができました。ぜひ2023年と2024年の日米草の根交流サミットに参加してください。交流の環を広める絶好の機会です。



途絶えていた草の根がまたつながった (2023年)
左: アンディ・ワイレガラ氏 右: 野田眞理氏



「世界のマキノ」とジョン万次郎

谷村鯛夢 (出版プロデューサー・俳人・エッセイスト・中浜万次郎国際協会監事)

今話題のNHK朝ドラ「らんまん」。主人公の高知が生んだ「日本の植物分類学の父」牧野富太郎と万次郎の接点に驚いた方達も多かったことでしょう。日米草の根交流サミットと富太郎との接点といえば、2011年高知大会のクロージング式典。牧野富太郎の功績を顕彰している高知県立牧野植物園で盛大に行われました。

さて、今回は話題の牧野博士と高知にまつわる万次郎観について谷村鯛夢氏よりご寄稿いただきました。

今春からのNHK朝ドラ、「らんまん」、高知県佐川町出身の世界的植物学者・牧野富太郎をモデルとしたこの国民的ドラマには「まるで大河ドラマのような朝ドラ」といった高い評価が寄せられているようです。富太郎は幕末の文久2年(1862年)生まれですから、幼少期は当然「時代劇」になりますが、まずは史実を巧みに生かした脚本、ドラマ作りが高評価につながっているように思えます。



2022年に生誕160年を記念して高知県立牧野植物園にて開催された「牧野富太郎」展のフライヤー。富太郎94年の波乱万丈の生涯が全面的に展覧された。左下が富太郎夫妻。

さて、こうした「モデルありの朝ドラ」が始まると、関連出版物が出るのも恒例ですが、ただ、そうした中の「偉人伝」や「モデル小説」は、私には今一つピンときませんでした。

プロの編集者として、それも高知県出身の編集者として、といったほうがよいかもしれませんが、簡単に言えば、「偉人伝」や「モデル小説」には何か「土佐出身の人物」の臭いがしない、土佐的要素の濃度が薄いよなあ、という思いがありました。

私の富太郎という人の基本的なキャラクター理解は、講談社学術文庫に入っている「牧野富太郎 自叙伝」。これ

を読んだときの第一印象が「このおんちゃん、かなりのいごっそうやな」ということ。その片意地とも思える一途さ、最終的にはユーモラスにさえ見えるその意固地。奇矯ともいえるその意気軒高ぶり。そのまま読めば、典型的な変人奇人かいわゆる学者馬鹿と捉える人もいるかもしれませんが、しかし、そこに「土佐バイアス」をかけて見ると、まさに、「土佐のいごっそう」がそこにいる、ということが県出身者には分かる。

そうした私の思いの中で急浮上したのが土佐史談会のレジェンド谷是さんの講演「人間・牧野富太郎」でした。土佐史談会は歴史ある研究団体ですし、谷さんは高知新聞OBで郷土史家としても重鎮。なによりも講演の名手で、その土佐弁交じりの名調子は有名です。この谷さんの講演を一冊にまとめて世に問いたい、というのが今回の出版の第一歩でした。



〈らんまんの笑顔「人間・牧野富太郎」伝〉谷是・語り下ろし 谷村鯛夢・書留 (集英社)
表紙の写真は、20歳ごろの牧野富太郎

谷さんは富太郎のことを、まず「好き一途に生きたいごっそう」と言います。この「いごっそう」に代表される土佐人キャラクターについては、高知好きが高じて高知に移住して10年になる映画監督安藤桃子さんの面白い

指摘があります。高知が「酒の国」であることを前提に、桃子さんは「高知は泥酔文化の国。高知人は飲めない人もウーロン茶で泥酔する」と明言。そして、「高知は日本ではない」というのが、ロンドン、N.Y. に学んだこの才媛の高知観。

「泥酔」は、徹底的に飲む酒文化だけを言っているのではなく、「いごっそう」の偏屈ぶりも含めて、何かに「泥酔」したかのようにのめり込む、夢中になる気質を見事に捉えた表現。

そうか、酒造家の息子ながら酒が飲めない富太郎は、植物に「泥酔」したのか…。

谷さんは富太郎についてもう一つ、「遅れてきた志士」だとも言います。富太郎が生まれた文久2年、坂本龍馬が富太郎の町佐川を通過して「脱藩の道」を走り抜けました。先に、今回の朝ドラの脚本は史実をうまく生かしている、と書きましたが、例えば朝ドラにあった「龍馬が五歳の富太郎を肩車する」シーンは、いわゆる史実ではありません。しかし、富太郎五歳の慶応3年は、龍馬が長崎、土佐、京都などを駆け廻って「大政奉還」を進めた年ですから、その途上、佐川で少年富太郎に出会って励ましても、おかしくはない…。



2017～2018年に「大政奉還150年」を期して開催された「志国高知 幕末維新博」関連のパンフレット「幕末維新の土佐 人物紹介」の表紙。中央右からジョン万次郎、坂本龍馬、岩崎弥太郎、山内容堂、龍馬の上に板垣退助、容堂の下に河田小龍

さらに視聴者を驚かせたのが板垣退助が立ちあげた「自由民権運動」の最中、青年期に入ろうかという富太郎が高知でジョン万次郎（中浜万次郎）に会うというシーン。万次郎が富太郎に「自由」について語る…。私はこの朝ドラの中で万次郎が富太郎に会うということは聞いていましたが、それは東京でのことだろう、と思っていましたから、万次郎が高知に登場したのにはびっくり。しかし、二人の年譜を重ねてみると、明治10年前後、故郷の母の

見舞いに再三高知に帰る万次郎と高知での自由民権運動の勃興期が重なるではありませんか。いやいや、脚本家の想像力はすごい。

龍馬や板垣はじめ、岩崎弥太郎、山内容堂など幕末土佐のオールスターズのような名前が、「ジョン万次郎資料館」の《万次郎に影響を受けた人々》に列記されています。みな、土佐に帰国した万次郎の話を聞いたり、「漂異紀畧」などを讀んだりして、わくわくしながら世界に目を開いた人たち。今回の朝ドラの脚本家も万次郎に会った富太郎に「漂異紀畧を讀んでわくわくしました」と言わせましたから、「世界のマキノ」も《万次郎の影響を受けた人々》のひとりだと認識したのでしょう。

さらに富太郎の東大植物学教室への出入りを許可してくれた主任教授の矢田部亮吉が、アメリカのコーネル大学に留学する前に中浜万次郎に英語を教わっていたことも判明。ここにも富太郎関連で《万次郎に影響を受けた人》がいたわけです。

最後に余談を一つ。朝ドラにジョン万次郎が登場したその週に、講談社の学術文庫担当者から「『漂異紀畧 全現代語訳』の8刷が決定。一万部突破、おめでとうございます」との連絡がありました。業界では一万部突破はヒット作と認識されていますので、執筆者としてだけでなく、企画プロデュースをした者としても感慨ひとしお。研究者だけでなく、普通の方々がこの稀代の書物のタイトルを「ひょうそんきりやく」と普通に読めるようになるよう、こちらも切に願っているところです。

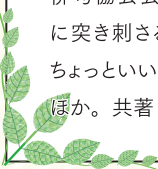


プロフィール

谷村 綱夢（たにむら たいむ）

1949（昭和24）年
高知県室戸市生まれ

同志社大学文学部卒 婦人画報など女性誌の編集に長く関わり、現在出版プロデューサー、日本エッセイストクラブ会員、俳人協会会員、現代俳句協会会員、俳句結社「炎環」同人会会長。著書に「胸に突き刺さる恋の句—女性俳人百年の愛とその軌跡」「俳句ちょっといい話」「ジョン万次郎口述・漂異紀畧 全現代語訳」ほか。共著・編著多数。



「第31回日米草の根交流サミット2024 和歌山大会」 開催日決定！

コロナ禍のため延期されていた和歌山大会の開催日が決まりました。和歌山県といえば、世界遺産の高野山や熊野古道、徳川御三家の一つ紀州徳川の和歌山城、ミカンや梅干し、パンダ！など、豊かな自然や歴史から日常生活まで、日本人をも魅了する地域です。オープニング式典が行われる和歌山市での5年ぶりの同窓会をお楽しみに！

日 時：2024年7月9日(火)～15日(月)

同窓会開催地：和歌山市



Japan-America Grassroots Summit 2024 in Wakayama

万次郎関連団体情報

「万次郎資料調査団」からのお願い！

CIE関係者の皆さま

中濱家とホイットフィールド家との繋がり、鎖国時代・第二次世界大戦を乗り越えて現在に至り、両家の各世代に亘る歴史資料は日米交流の大切なものです。

しかし残念ながら資料は時と共に劣化しつつあり、貴重な資料群を後世に残す為には、データ化、安全な収蔵庫での保管などが急がれます。昨年より東京大学の専門家の力も借り、5名で「万次郎資料調査団」を結成して調査を開始しました。皆さん自費で熱心に取り組んでくださっておりますが、今後の修復・保存・データ化にはかなりの費用が必要です。そこで、クラウド・ファンディングをすべく、7月中の募金活動開始を目標に準備中です。2027年に迎える万次郎生誕200年記念に繋がる取組みでもあり、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ジョン万次郎直系五代目 中濱 京

※詳細は「万次郎資料調査団」HPにて：<https://manjiro.org.wordpress.com/>



「第8回ジョン万次郎英語弁論大会」 開催案内&参加者募集

土佐ジョン万会では、全国の中学生と高校生を対象に、2015年より「ジョン万次郎英語弁論大会」を開催しています。180年以上前、遭難という予期せぬ出来事にも、けっして諦めずに立ち向かい、未来を切り開いたジョン万次郎のように、自分の夢に向かって挑戦し続ける「ジョン万スピリッツ」を掲げ、「第8回ジョン万次郎英語弁論大会」を下記の日程で開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

日 時：2023年8月27日(日)

申込締切：2023年8月8日(火)必着

場 所：高知県人権啓発センター6階ホール

特 別 賞：アメリカ研修旅行(未定)

お問合せ：土佐ジョン万会事務局(担当：川村)

〒780-0952 高知市塚ノ原 37 番地

TEL：088-843-6007

e-mail：tosa@johnmung.org

募集要項：http://johnmung.org/data/pdf/2023benron_bosyu.pdf



募集要項はこちら

スミソニアン協会発行 Smithsonian Magazineで 万次郎の生涯と功績を紹介！

5月19日発行Web版「日本の鎖国を終わらせた10代の若者」というタイトルで、アメリカ人の船長に助けられた万次郎が、外国で過ごし、帰国するが、日本では彼の専門知識は評価されつつも完全に信頼されることはなかったと紹介しています。



詳細はこちら

<https://www.smithsonianmag.com/history/the-shipwrecked-teenager-who-helped-end-japan-isolationist-era-180982199/>

公式LINE始めました！
【国際草の根交流センター(CIE)】

お友達登録
お願いします！

ID:@580okscz



Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

株式会社アイシン
AISIN CORPORATION

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

OHASHI
OHASHI TECHNICA, INC.

株式会社オーハシテクニカ
Ohashi Technica, Inc.

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

Doo Company
COMMUNICATION & DESIGN

株式会社ドゥカンパニー
DooCompany Co., Ltd

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FKD | FUKADA DENKI

地球と手をつなぐ、電材カンパニー。
深田電機株式会社
FUKADA DENKI

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

ダイハツ工業株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社
Daihatsu Motor Co., Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : <http://www.manjiro.or.jp>